PROVA 1

イタリア銀業界で再編ドミノ　敵対的買収、同時に4件

イタリアの銀行業界でかつてない大再編劇が繰り広げられている。すでに国内で同意なき買収が4件同時に進行するという異例の事態だ。欧州債務危機以降、経営体力が回復してきたイタリア銀がさらに国内収益基盤を固めようと競うように買収合戦に動いている。

「イタリアでは革命は不可能だ。なぜなら皆が互いを知っているからだ。この有名な言葉にこう付け加えてもよいかもしれない――上流金融の世界では、皆が皆の『友人のふり』をしている」。イタリア有力紙コリエーレ・デッラ・セラはこんなコラムを載せた。

昨年来、イタリアの銀行が相次いで相手の同意がない状態での買収提案に動き出している。直近では4月に有力銀メディオバンカがバンカ・ジェネラリに対して63億ユーロの買収提案を公表。バンカジェネラリは突然の提案にまだ態度を表明していない。

日本とイタリアが映画協定　伊文化相「多様な作品、両国の国益に」

日本とイタリアで映画共同製作協定が6月末に締結された。条件を満たした共同製作映画は両国から自国映画としての恩恵を受けられる。日本がこの協定を結んだのは中国に続いて2カ国目。

「イタリア国民は日本文化への関心が高いんです」と、日本と協定を結んだ理由をジェンナーロ・サンジュリアーノ文化相は語る。「例えば村上春樹さんの小説は若い世代を中心にとても読まれています。映画は他の芸術に比べ、まだ歴史が浅いですが、幅広い層の人々に訴えかける力があります。共同製作が進むことで、イタリア国民が日本への理解をさらに深めることになりますし、私は日本の国民にもイタリアをより理解してほしいので、そのきっかけになるのではないかと期待しています」

イタリアは、1950年代のフランスに始まり、現在は34カ国と協定を締結している。イタリアはいま、世界で年に約40本が共同製作映画に認定されている。サンジュリアーノ文化相は日本とも年3〜4本の共同製作が生まれることを期待しているという。ただ、日本は2018年に中国と協定を結んだものの、共同製作映画はまだ1本もない

5月の日英伊防衛相会談、中止に　3カ国の日程調整つかず

次期戦闘機を共同開発する日本、英国、イタリアが5月上旬に予定していた3カ国の防衛相会談が見送りになった。防衛省幹部によると参加国の日程調整がつかなくなったという。

次期戦闘機の開発を巡っては参画を検討するサウジアラビアとの防衛相会談も4月下旬に予定していたが中止となった。サウジ側が来日を取りやめた。

PROVA 2

次期戦闘機開発、サウジが防衛相会談に参加調整　5月に

中谷元防衛相は5月上旬にもイタリアを訪問する。次期戦闘機を共同開発する英国、イタリアの防衛相と会談する方針だ。開発への参画を検討するサウジアラビアの防衛当局者をまじえた会談を調整する。開発の計画に関して協議する。

サウジは「パートナー」の立場で機材の購入や開発資金の拠出を検討している。イタリアのメローニ首相は1月にサウジの参画へ支持を表明した。

サウジは資金力がある。日英伊にはサウジを共同開発に加えて計画を進める狙いがある。

イタリアは海上自衛隊が運用する「P1」哨戒機の輸入にも意欲を示す。2029年までに次期哨戒機の導入をめざしており、P1を候補の一つに挙げる。

同国の防衛産業大手レオナルドが製造するジェット練習機「M346」の日本への輸出も狙う。日本は航空自衛隊のジェット練習機「T4」の後継機の開発を計画しており、売り込みをかける。

チケット販売は「上向き」　開幕から1カ月の万博で見えた課題は

大阪・関西万博は13日、開幕から1カ月となる。チケットの売れ行きは上向きだが、来場者数は準備段階での想定には遠いのが現状だ。会場につながる交通網のトラブルや、会場内外での混雑、行列にどう対応するかなど、課題も残る。

開幕直前の4月9日時点で907万枚だった万博の入場券の販売枚数は、5月9日時点で1138万枚となった。この1カ月で約200万枚上積みされ、売れ行きは上向きだ。

協会は1160億円と見込む運営費の84%を入場券販売でまかなう計画だ。黒字化の目安は1840万枚だが、「好調」（協会幹部）という物販の収入などが伸びれば、さらに少なくて済む。

雑誌携え、ナポリに飛んだ　伝説のピッツァ職人の絵本

1996年、後に日本を代表するピッツァ職人となる小田原学さん（61）は雑誌「BRUTUS」を手に取った。特集はイタリア・ナポリのピッツァ。「どうしたらこんな風に作れるんだろう。本場の味を知りたい」。ナポリに飛んだ。それから約30年。小田原さんは料理人として大学教授になり、この春、絵本も手がけた。

　初めての海外一人旅。雑誌を頼りにたどり着いた店で、マルゲリータを注文した。もっちりとかみ応えのある生地。ぷっくりとふくらんだ縁の部分はサクッとしている。ほのかな焦げの香りはまるで餅のよう。「これまで食べてきたものと全然違いました」

　ピッツァの生地に必要なのは、小麦粉、水、塩、酵母のみ。生地を伸ばすのも窯で焼くのも手作業で、職人の感覚だけで作っていた。シンプルだからこそ腕が試される。

PROVA 3

日伊首脳、安保協力で一致　外務・防衛当局間の協議、新設

岸田文雄首相はイタリア・ローマで１０日、メローニ首相と会談した。会談後の共同記者発表で岸田氏は、両国関係を「戦略的パートナーシップ」へと格上げし、安全保障や経済分野を中心に関係を強化していくことで一致したと明らかにした。

日本とイタリアは昨年１２月、英国と共に、航空自衛隊のＦ２戦闘機の後継となる次期戦闘機の共同開発を発表した。１０日の首脳会談では、両国間の安全保障協力が進展していることを踏まえ、新たに外務・防衛当局間の協議を設けることを決めた。会談後の共同記者発表で、メローニ氏は戦闘機の共同開発について、「民間部門、研究部門に対しても重要なインパクトを与えるテーマとなる」と評価した。

退職したいほど「電話が怖い」　SNS 世代の社員が抱く不安と責任感

電話が嫌で嫌でしょうがない――。電話がプレッシャーになり、若手社員の退職につながるケースが出ている。企業向けの電話応対研修を行っている「ドゥファイン」（東京都）はコールセンターを運営するほか、メーカーや病院、サービス業などで年間 100 社以上に固定電話の使い方や話し方の研修をする。研修に参加した若手社員には「固定電話を初めて触った」と話す人も珍しくない。1 週間かけて研修する企業もあるという。

総務省の 2023 年の調査によると、国内の固定電話のある世帯の割合は 57.9%。スマートフォンが 90.6%と年々増加する傾向にあるのとは対照的に、固定電話は過去 10 年で 20 ポイント減った。

ローマ教皇、26 日に葬儀　50 カ国首脳集い弔問外交の場に

ローマ教皇庁（バチカン）は 26 日午前（日本時間同日午後）、21 日に死去したローマ教皇フランシスコの葬儀を執り行う。バチカンによると、約 50 人の国家元首と約 10 人の君主を含む 160 以上の外交団が参列する予定だ。トランプ米大統領らがローマに集い、弔問外交を展開する。

教皇の遺体は 23 日からバチカンのサンピエトロ大聖堂に安置されており、一般弔問の長い列ができた。25 日夜に教皇のひつぎを閉じる儀式が行われ、葬儀は 26 日午前 10 時（同午後 5 時）から始まる。イタリア内務省によると、同日には 20 万人以上の信者が参列する見通し。

25 日夜までにトランプ氏やマクロン仏大統領ら各国の首脳らがローマに続々到着した。イタリアメディアによると、スターマー英首相とハンガリーのオルバン首相は 25 日、イタリアのメローニ首相を表敬訪問した。

各国首脳による会談が開かれる可能性がある。日本からは岩屋毅外相が参列する。